2023年 9月号

協会けんぽ

さが支部通信

職場内で回覧・掲示ください!

～事業主様・加入者様へ～

保険料負担の軽減につながる大切なお願いです。
被扶養者資格再確認に ご協力をお願いします。

確認対象者 令和5年4月1日において18歳以上の被扶養者

被扶養者状況リストの送付時期 令和5年10月下旬から11月上旬にかけて順次送付
（確認対象者がいない事業所には被扶養者状況リストは送付いたしません）

提出期限 令和5年12月8日（金）

提出物

【扶養から外れる方がいない場合】

◇被扶養者状況リスト(正)※

次に該当する場合のみ、事実を証明する書類および、被扶養者現況申立書が必要です。

○ 被保険者と別居している被扶養者
→仕送りの事実と仕送り額が確認できる書類(学生の場合は省略可能)

○ 海外に在住している被扶養者
→海外特例要件に該当していることが確認できる書類

【扶養から外れる方がいる場合】

◇ 被扶養者状況リスト(正)※
◇ 被扶養者調書兼異動届
◇ 扶養から外れる方の保険証(高齢受給者証等)

※被扶養者状況リスト(副)は事業主様の控えとなりますので、送付せず手元に保管をお願いします。

ご退職の際は必ず保険証をご返却ください

- ご退職時(または扶養から外れたとき)には、保険証を事業主様へご返却ください。
協会けんぽでは、資格喪失後等に保険証の回収が確認できない方に通知をお送りしています。
行き違い防止のため、回収した保険証は速やかに返却をお願いします。

保険証の返却方法

日本年金機構に提出する「資格喪失届」「被扶養者異動届」に添付してください。

- 保険証を添付できない場合、「健康保険被保険者証回収不能届」の添付が必要です。
- 電子申請の場合も保険証の返却が必要です。電子申請の到達番号がわかる画面を印刷の上、保険証と併せて年金機構へ速やかにご郵送ください。

協会けんぽ 2022（令和4）年度決算（見込み）のお知らせ

2022年度の決算（見込み）のポイント

2022年度の決算は**収入が11兆3,093億円**、**支出が10兆8,774億円**で、**収支差は4,319億円**となりました。

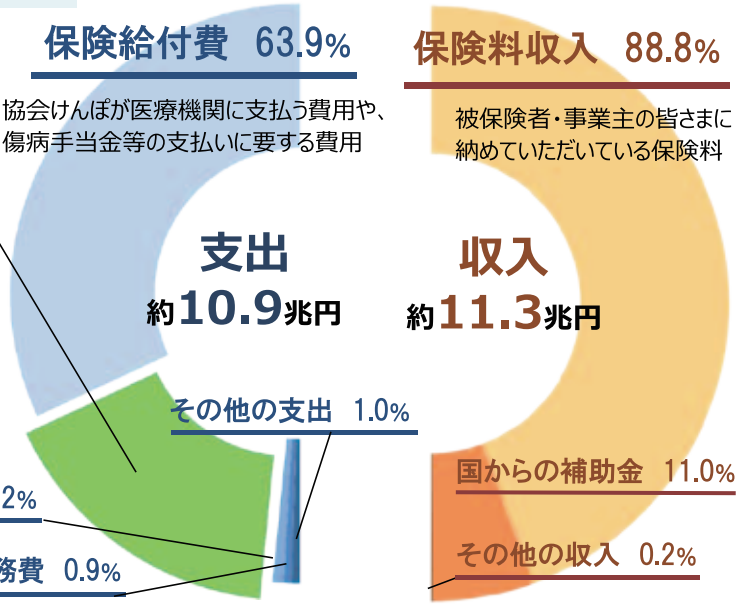
ポイントとして、収支差は前年度比で増加（+1,328億円）しましたが、この要因は、保険料収入の増加（+1,868億円）より保険給付費の増加（+2,502億円）が上回ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う2020年度の高齢者の医療費の一時的な減少により、後期高齢者支援金に多額の精算（戻り分1,901億円）が生じたこと等によって支出の伸びが抑えられたことによるもので、一時的な特殊事情によるものです。

※ 詳しくは、協会けんぽホームページをご覧ください。

2022年度決算（見込み） | 医療分

収入	11兆3,093億円	（+1,813億円）
支出	10兆8,774億円	（+ 486億円）
収支差	4,319億円	（+1,328億円）
準備金	4兆7,414億円	（+4,319億円）

※ （ ）内は、対前年度比。



高齢者医療への拠出金等 33.0%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。その額は、支出の 約1/3 を占め、重い負担になっています。

今後、**団塊の世代が75歳以上となることによって、高齢者医療への拠出金の増加が見込まれています。**

Q. 2022年度の決算は黒字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

A. 協会けんぽの財政は、以下の理由から**楽観を許さない状況です。**

- 収入面では、賃上げによる賃金の上昇が当面は見込まれるものの、被保険者数の伸びが鈍化していることや、不安定な海外情勢や物価高の影響等で経済の先行きが不透明であること等によって、**これまでのような保険料収入の増加が今後も続くとは期待し難い**こと。
- 支出面では、**医療給付費がコロナ禍前の水準を上回って推移した2021年度(対前年度比+8.6%)をさらに上回り、2022年度は対前年度比+4.4%と高い伸びで推移**していることや、今後も、**後期高齢者支援金の増加**が見込まれること。

こうした状況を踏まえ、協会は、将来を見据えて、加入者の健康増進の取り組みを中心とした医療費の適正化をさらに推進するとともに、安定した財政運営に努めてまいります。

全国健康保険協会 佐賀支部
協会けんぽ

〒840-8560
佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル TEL:0952-27-0611（代表）

- 申請書はホームページより印刷できます。
- メールマガジンで、最新のお知らせ・健康お役立ち情報などを無料でお届けしています。

協会けんぽ 佐賀 検索

▼メルマガ登録